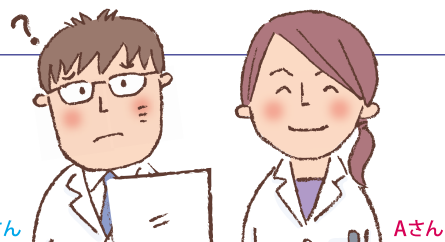
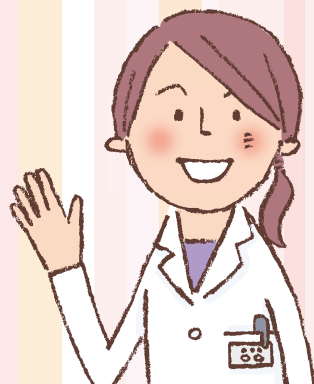


5分でわかる!

今年度 覚えておくべきポイント 調剤報酬改定

「その4. 残薬調整」



ここはカナイ薬局猿楽町店。
薬剤師のOさんはある処方箋を手に困り顔をしています。
どうやら残薬調整の指示のある処方箋のようです。

残薬調整 OK の処方箋がやってきた

Q Aさん、この処方箋、どういう風に考えたらいいでしょうか？

A 何々？ 残薬調整の処方箋ね。

Q ほら、見てください。備考欄に、「患者の残薬分を差し引いた減数調剤をして差し支えない」という処方医からの指示があります。でもチェック欄にチェックがされていないんですね。残薬調整してはいけないということなのでしょうか？



A どれどれ？ あー、なるほど。わかりました。Oさんは、平成28年度改定の内容と、平成30年度の改定の内容がごっちゃになっているようです。

Q え？ どういうことですか？

A 前回平成28年度の改定で、処方箋の備考欄に「保険薬局が調剤時に残薬を確認した場合の対応」として、2つのチェック欄ができましたね。

Q はい。

A あの2つのチェック欄は、①処方医へ疑義照会を行ったうえで、その際の処方医の指示に基づき調剤する、もしくは、②残薬に応じた調剤量の調整は行わず、その情報を処方医へ情報提供するためにできたものです。

Q あれ、同じなのかと思っていました。だから、今回みたいな残薬調整の際は、この右側のチェックボックス(保険医療機関へ情報提供)にチェックが入るべきなのになーと思って…。



備考欄に記載があれば減数調剤 OK

A 残念! 今回の改定では、2つのチェック欄の指示に基づくケースとは別に、「**残薬分を差し引いた減数調剤の取り扱い**」が明確になったのです。だから、右側のチェックボックスにチェックが入った処方箋が来たとしても、残薬調整OKだと考えるのは大きな間違いですよ。

Q だから今回、チェックはないのですかね。で、備考欄に残薬調整のことが明記してある。



A そうです。

Q そうか。わかりました。患者さんはこの前の薬を薬袋ごと持ってきていたので早速調べました。ACE阻害薬が10日分余っていました。早速、10日分引いて調剤しますね。

A Oくん、ちょっと待って。「残薬分を差し引いた減数調剤」というのは、「**薬剤服用歴の記録又は調剤録及び残薬の外形状態・保管状況その他の残薬の状況を確認したうえで、処方箋に記載された医薬品の数量を減らして調剤する業務**」ですよ。だから、薬袋に入った薬だけでなく、**きちんと薬歴や調剤録なども確認**してね。

Q はい。

A それと、**残薬の状況や患者さんの状態などによっては、減数調剤は行わないで、処方医へ疑義照会を行って指示を受けることが必要**です。ACE阻害薬がなぜ残っているのか、患者さんと話をすることが必要ですよ。単なる飲み忘れならよいのですが、空咳が嫌で薬を間引いているかもしれません。でも、処方医は誤嚥を防ぐためにあえて処方しているのかもしれません。

Q はい! もう少し患者さんから情報収集してみます!

A Oくん、頑張ってね。

日々の薬局業務で生じる疑問に答え、

知識の再確認から新人教育まで、幅広くご活用いただける1冊!

最新刊!

平成30年版

保険薬局 Q&A

薬局・薬剤師業務のポイント

監修
日本薬剤師会

編集
じほう

じほう

「保険調剤Q&A」に続いて、いよいよ「保険薬局Q&A」が発行されます。処方箋受付、疑義照会、麻薬の取り扱い、後発医薬品や訪問薬剤管理指導など、薬剤師・薬局業務を行ううえで知っておかなければならない145のポイントをQ&A形式にまとめました。日々の薬局・薬剤師業務の中で生じる「なぜ?」「どうして?」を本書で解消しましょう。

2色刷りで注意すべき点がひと目で確認でき、忙しい業務の合間にも知りたいポイントがすぐにわかります。

最新知識の確認のほか、事務スタッフの教育や、薬学生の実習受け入れの際のテキストとしてもご活用いただけます。

監修 日本薬剤師会 編集 じほう

定価(本体2,200円+税)/A5判/頁数未定/2018年7月刊予定
ISBN: 978-4-8407-5054-7

平成28年版 読者の声

20代 女性 薬剤師

薬局への転職にあたり購入しました。業務中に迷うであろうクエスチョンに対してわかりやすいアンサーが書かれていて読みやすいです。薬局業務の基本的事項が学べ、日常業務に活かせると思いました。

30代 女性 調剤薬局事務

前回の改定の時から購入させていただいています。保険薬局の一步踏み込んだ内容がいつも勉強になります。これからも改定内容に合わせたポイントを教えてください。期待しております。

40代 男性 薬剤師

保険薬局に関する幅広いテーマについて、最新の情報をもとにコンパクトにまとめられており理解しやすい。理解度チェックにも利用できるのも、新人・ベテラン問わずおすすめできる。